



白萩

学校だより「しらはぎ」

令和6年 5月号

あきる野市立増戸中学校

編集：副校長 中山恵施

これからの増戸中

校長 木下美彦

奥多摩の山々に鮮やかな新緑が映える5月を迎えました。新入生84名が加わり全校生徒257名で新年度がはじまり、約1ヶ月が過ぎました。新入生も中学校生活に慣れ、1学期の学校生活が展開しています。学級開きからクラスの係・委員選出、そして生徒総会へと生徒の組織も出来上がりました。9・10日は中間考査、11日は学校公開とPTA総会と諸行事に追われるような感じもありますが、25日は第78回体育大会になります。学校行事を通して集団の中でそれぞれの力を発揮できるように、練習や準備が始まっています。



教職員は熱中症対策、練習による疲労と健康管理に配慮して活動の充実を図ります。生徒には朝食を摂ることや水分補給、睡眠時間を確保し体力のリカバリーを考えてほしいです。実践できる力を身に付け、体調管理ができる姿勢を望みます。また、互いを気遣う生徒同士の言動にも期待しています。

6日は開校記念日でした。昭和22年4月1日、増戸村立増戸中学校として認可。5月5日、増戸小学校講堂にて開校式、生徒数199名・5学級での出発でした。8月28日、仮校舎が完成。3月20日にはPTAが発足しました。第1回の卒業生は48名でした。次年4月15日に生徒会が発足しました。過去の記念誌から拾いました。78年の年月には五日市町との合併、秋川市からあきる野市へと自治体の規模は拡大し、その時々の変化で、学校の在り方も変わってきました。本校に関わった地域の方々や教職員、ここで学んだ多くの卒業生の方々もいらっしゃると想像します。生徒たちが誇りをもって過ごせるこの一年にしたいと改めて思いました。

これからの学校教育の在り方は国や東京都、あきる野市から示されています。その大きな流れの中で学校を改善してまいります。

東京都教育ビジョン（第5次）では令和6年度から5年間の東京都の教育振興基本計画が述べられています。その大きな柱は3つあります。【柱1】「自ら未来を切り拓く力の育成」【柱2】「誰一人取り残さないきめ細かな教育の充実」【柱3】「子供たちの学びを支える教職員・学校の力の強化」です。東京都教育委員会のホームページには具体的な施策が公表されていますので、御覧ください。

これからの生徒に課せられた課題は、生徒自身が自分に合った学び方を身に付けることです。学校は多様な学びを支えるように、さらに準備を進めることが大切です。また、あきる野市の指針とともに地域の方々と協働していく方法として、コミュニティスクール制度が整いつつあります。PTAや地域の方々とともに一層の充実に努めます。

これからの教育の方向を眺めつつ、5月の活動に取り組みます。増戸小学校とともに進める小中一貫教育を誰一人取り残さないきめ細やかな教育という視点のもと実践してまいります。これからも御理解・御協力のほど、よろしく願いいたします。